

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	1186	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	本町の観光客数が長年低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光の振興につながる新分野進出・新事業展開や2020年五輪の開催を受けて増加が見込まれるインバウンド事業の推進などについて専門的な知識を持つ観光アドバイザーからの適切かつ有効な指導、助言を受ける。 テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット、ソーシャルネットワークシステムなど、多種多様なメディアに対して働きかけ、本町の情報発信の拡充を図る。町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化を図る。				
対象	観光客				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光アドバイザーの設置 観光プロモーション活動の実施 町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化 				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
コスト	事業費	0	0	0	3,500,000	3,500,000
	人件費	常勤職員			7,743,111	7,743,111
		非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	7,743,111	7,743,111
総事業費	0	0	0	0	11,243,111	11,243,111
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0	0	11,243,111
財源合計	0	0	0	0	11,243,111	11,243,111
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
アドバイザーとの意見交換・講演等	アドバイザーの出席回数		回	0	0	6
プロモーション撮影	動画・静止画等の撮影		回	0	0	12
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743
				0	0	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	(平成27年度新規事業)
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	(平成27年度新規事業)
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考える。

平成26年度までの改善点	平成27年度新規事業
--------------	------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) <ul style="list-style-type: none"> 観光アドバイザーの委嘱 政所利子氏に委嘱 観光アドバイザーの観光立町推進会議への出席 観光アドバイザーによる講演会の実施 動画、静止画の撮影(梅の宴、湯かけまつり外)
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、専門的な知識を持つアドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町が継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	1190	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	インバウンド情報発信事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(6) おもてなしの向上	③ 国際観光地に向けた外国人観光誘客活動
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	湯河原町を訪れる外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語パンフレット及びホームページ等を作製する。				
対象	外国人観光客または湯河原町を訪れようとする外国人観光客				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語パンフレットのリニューアル作製 ・外国人向けホームページの作製 				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	0	0	0	0	3,500,000
人件費	常勤職員				3,871,556	
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0	3,871,556	
総事業費	0	0	0	0	7,371,556	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0	0	7,371,556
財源合計	0	0	0	0	7,371,556	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
パンフレットの発行部数			枚	0	0	6,000
ホームページの 카테고리数			コンテンツ	0	0	80
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	(平成27年度新規事業)
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	(平成27年度新規事業)
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考ええる。

平成26年度までの改善点	平成27年度新規事業
--------------	------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) ・推進体制として、アドバイザー、リーダー、ワーキンググループを組織する。 【成果物】 (1) 外国語パンフレット・リーフレット・マップ等の作製 (2) 外国語ホームページの作製 (3) その他インバウンドの推進に利する事業の企画・立案
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、専門的な知識を持つアドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町が継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	1185	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	三原市やっさ祭り40回記念親善交流事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	Ⅲ 多文化共生社会 の実現	3 地域間交流	(1) 地域間交流の推 進	② 親善都市及び姉妹都 市との交流の推進
関連する個別計画					
目的	親善都市である広島県の「三原やっさ祭り」が40回目の節目を迎えるため、8月7日(金)～9日(日)に開催される「三原やっさ祭り」に、湯河原芸妓及び土肥会が参加する。				
対象	広島県三原市民				
内容	8月7日(金)のまつり初日にはJR三原駅前湯河原芸妓が湯河原やっさを披露する。 土肥会は、三原市の郷土歴史研究団体である「みはら観光と歴史の会」と活動報告会を開催し、歴史的な係わりの研究や相互の活動報告会を通じて情報交換を図る。 ゆたぼん…三原市のゆるきやらといっしょに祭りに参加予定。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	0		0		1,655,000
コスト 人件費	常勤職員	821,229	668,738	1,935,778		
	非常勤職員等					
	人件費合計	821,229	668,738	1,935,778		
総事業費	821,229	668,738	3,590,778			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	821,229	668,738	3,590,778		
財源合計	821,229	668,738	3,590,778			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
			0	0		
			0	0		
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743	
			0	0		

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 親善都市である三原市との記念事業なので、町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	(平成27年度単年度事業)
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	(平成27年度単年度事業)
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 本事業に関しては、受益の機会は均等であると判断している。

平成26年度までの改善点	平成27年度新規始業
--------------	------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) (1)湯河原芸妓:JR三原駅前での湯河原芸妓が湯河原やっさを披露 (1)土肥会:三原市の郷土歴史研究団体である「みはら観光と歴史の会」と活動報告会を開催 (2)ゆたぼん:三原市のゆるきゃらといっしょに祭りに参加予定。
平成28年度以降の方向性	単年度事業のため平成27年度で終了

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	単年度事業のため平成27年度で終了
------	----	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	・平成27年度の単年度事業。
------	----	----------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	995	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	観光立町推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	①②⑤ ①イベントの充実 ②民間活力の活用 ⑤観光資源の発掘と情報の収集・提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年6月に策定した「観光立町推進計画」に基づき、観光立町の実現に向けた施策として、観光立町推進会議の審議を経て、後援会等を開催。 万葉荘施設を神奈川県から賃借するための賃借料及び評価委員会経費等を計上。 観光大使及びゆたぼんファイブがイベント等に出演する委託料を計上。 				
対象	観光客、観光大使、観光立町推進計画委員等				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国語パンフレットのリニューアル作製 外国人向けホームページの作製 				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	24,241,649	27,099,050	27,707,000		
	人件費	常勤職員	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
		非常勤職員等				
		人件費合計	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	総事業費	32,453,940	33,786,426	34,675,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	32,453,940	33,786,426	34,675,800		
財源合計	32,453,940	33,786,426	34,675,800			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
ゆたぼんファイブのイベント出演	出演が町のPRにつながる	回	31	47	40	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743	
万葉荘宿泊者		人	0	0		

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	県から万葉荘を賃借し、万葉荘の営業を存続する事業は、町以外において実施することができない。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	効果検証は難しいが、約2万人の宿泊者を確保していること、一定の効果が得られていると考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	かつて、閉鎖となる予定であった万葉荘を県から賃借し、年間約2万人の宿泊者を確保していることは一定の成果を得ていると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考ええる。
平成26年度までの改善点	第三セクター(株)湯河原総合情報センターに対し助成を行っている商品開発委託料については、「着地型旅行商品の造成」に重点を置くため、年々、増額している。(平成26年度:140万円→平成27年度200万円)		

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	引続き、「着地型旅行商品の造成」事業にシフトし、第三セクターの自己財源確保を図っていきたい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	1155	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	圏央道開通誘客促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	圏央道の開通に伴い、新たな観光客を開拓するため、各種誘客促進事業を一般社団法人湯河原温泉観光協会に委託するもの。				
対象	神奈川県北エリア(相模原市 72万人)、東京都多摩エリア(圏域人口154万人)、埼玉県西部エリア(圏域人口 89万人)を対象とした観光客				
内容	神奈川県内では相模原市周辺地区から、東京都では青梅市等多摩地区から、埼玉県では西部地区からの自動車を利用しての本町への新たな観光客の来訪が期待できる。当該地区には海がないことから、海水浴や花火大会、やっさまつりと続く夏季行事を中心とした誘客活動を観光関係団体等と連携し、展開していく。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	0	4,300,000	4,300,000	4,300,000	
人件費	常勤職員		1,337,475	1,337,475	34,844,000	
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	1,337,475	1,337,475	34,844,000	
総事業費	0	5,637,475	5,637,475	39,144,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	5,637,475	5,637,475	39,144,000	
財源合計	0	5,637,475	5,637,475	39,144,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が観光協会と連携し、本事業を実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 平成26年度に行ったキャラバンにおいて、効果測定のための「町内施設招待券」を配布したが、回収率は1%程度であった。効果測定の検証は難しい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 全国梅サミット協議会加盟の東京都青梅市、埼玉県越生町、群馬県安中市が圏央道の沿線地域にあるため、同協議会で課題となっている相互交流活動の一助になったと考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 本事業に関しては、受益の機会は均等であると判断している。
平成26年度までの改善点	平成26年度新規事業であるが、圏央道沿線の中で、全国梅サミット協議会加盟自治体での誘客キャラバンを優先して開催している。 (全国梅サミット協議会では、例年サミット会議の開催のみでなく、相互交流事業が課題となっていた。)	

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が観光協会と連携し、新たな誘客が期待できる本事業を継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	212	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	海水浴場運営事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	III 多文化共生社会の実現	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	①②⑤ ①イベントの充実 ②民間活力の活用 ⑤観光資源の発掘と情報の収集・提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	海水浴場運営施設(警備本部)の組立解体、監視業務、救護員派遣及び海水浴場内の施設整備等を委託するもの。 海水浴場区域のプイの設置を福浦漁業協同組合へ委託するもの。				
対象	海水浴場利用客				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 警備本部組立解体の委託 監視業務の委託 ロープの張立撤去委託 				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	7,911,338	9,347,875	9,453,000		
	人件費	常勤職員	1,642,458	1,337,475	1,393,760	
		非常勤職員等				
	人件費合計	1,642,458	1,337,475	1,393,760		
	総事業費	9,553,796	10,685,350	10,846,760		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	9,553,796	10,685,350	10,846,760		
	財源合計	9,553,796	10,685,350	10,846,760		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743
海水浴場来場者数			人	121,750	119,700	125,000

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	多くの利用客が訪れる海水浴場は、海水浴場設置者である町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	海水浴場を開設することにより、湯河原の夏の魅力を広くPRできる。 安全で安心して海水浴ができる海岸としてのイメージの向上を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	夏季の観光行事のメインとなっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	訪れてくれる海水浴場利用客が安全・安心に海水浴を楽しんでいただけたらと考えている。

平成26年度までの改善点	年次ごとに優先順位をつけて、階段等の修繕を行っている
--------------	----------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	東側のトイレ手前のスロープ手すりを修繕予定
平成28年度以降の方向性	安全・安心な海水浴場を提供するため、平成28年度以降も海水浴場運営事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	若年層の海離れや海の家事業撤退などのマイナス要因も多いが、本町の観光資源である湯河原海岸海水浴場を活かした新たなアイデアを研究し、継続して事業を実施することにより観光客の増加につなげたい。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	224	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	ハイキングコース維持管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	町内のハイキングコースの維持管理(草刈、指導標の整備等)を行うものです。				
対象	ハイカー				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングコースの修繕 ・ハイキングコースの草刈 				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	666,000	1,142,400	1,182,000		
コスト 人件費	常勤職員	1,642,458	1,337,475	1,393,760		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,642,458	1,337,475	1,393,760		
総事業費	2,308,458	2,479,875	2,575,760			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,308,458	2,479,875	2,575,760		
財源合計	2,308,458	2,479,875	2,575,760			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
修繕箇所	維持管理に直接つながる		箇所	2	2	2
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	公の施設であるハイキングコースは、町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	ハイキングコースを整備することにより、安全・安心をPRするとともにイメージアップを図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	単年度ではなく、複数年度での計画を立てることで、ハイキングコースの整備を充実できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	訪れてくれるハイカーが安全・安心にハイキングを楽しんでいただけたと考えている。

平成26年度までの改善点	平成26年度に「鎌倉幕府開運街道」と称し、県からの補助金等を含めた予算で源頼朝と頼朝を庇護した湯河原の豪族・土肥実平にまつわる史跡、散策路等の整備を実施、それらに係るハイキングコース内の指導標・案内板の設置を行った。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	危険箇所等をチェックして、整備を行っていく。
平成28年度以降の方向性	安全・安心なハイキングコースを提供するため、平成28年度以降も、ハイキングコース維持管理事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ハイキングコースの整備(維持管理)により、ハイカーの安全・安心を確保しながら、事業を継続していく必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・ハイキングコースのPRと日帰りハイカーを宿泊客として取り組む施策を検討する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	685	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	観光施設公衆便所維持管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	湯河原を訪れる観光客等が、公衆便所を利用した際に不快な思いをしないよう、清掃を行うもの。				
対象	施設利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆便所の維持管理修繕 ・公衆便所の清掃委託 				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	10,652,659	10,998,388	11,345,000		
	人件費	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
		非常勤職員等				
		人件費合計	821,229	668,738	696,880	
	総事業費	11,473,888	11,667,126	12,041,880		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	11,473,888	11,667,126	12,041,880		
財源合計	11,473,888	11,667,126	12,041,880			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
リモデルの箇所		箇所	0	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	公の施設に設置している公衆便所は、町が整備する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	施設利用者が気持ちよく公衆便所を利用していただけることにより、施設のイメージアップを図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	明るく、きれいな公衆便所にする事で、防犯面で犯罪の抑止にもつがると思われる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	施設利用者の一人ひとりが公衆便所を快適に利用していただけていると考えている。

平成26年度までの改善点	平成26年度には、熊野神社トイレの和式から洋式トイレへのリモデルを実施。
--------------	--------------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	トイレ整備計画等策定に向けた基礎調査の結果をふまえて、どこのトイレを整備すべきなのか見極めていきたい。
平成28年度以降の方向性	快適な公衆便所を使用いただくため、平成28年度以降も、観光施設公衆便所維持管理事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	861	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	観光会館改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	観光会館各箇所の老朽化に伴い、3階トイレの改修を始め防火施設についても修繕を行うもの。				
対象	会館利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3階トイレ改修工事 ・変電室改修工事 ・正面玄関自動ドア装置交換 ・屋内消火栓設備修繕 ・防火ドア、シャッター修繕 				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)		
	事業費	0		12,758,040		5,472,000	
人件費	常勤職員			668,738		696,880	
	非常勤職員等						
	人件費合計	0		668,738		696,880	
総事業費	0		13,426,778		6,168,880		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	0		13,426,778		6,168,880	
財源合計	0		13,426,778		6,168,880		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743	
駐車台数	観光会館の利用につながる		台	10,214	13,780	15,200	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	公の施設である観光会館は、町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	施設修繕を行うことにより、施設のイメージアップを図ることを目的としているが、老朽化がはげしいため修繕箇所が多い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	単年度では修繕が追いつかないため、複数年での修繕計画が必要とされる
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	施設利用者の一人ひとりが快適に利用していただけていると考えている。

平成26年度までの改善点	平成26年度にカーテンウォール、2階トイレの改修等を実施
--------------	------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成27年度には、正面玄関自動ドア装置交換や3階トイレ改修工事等を実施予定
平成28年度以降の方向性	快適な施設を使用していただくため、平成28年度以降も指定管理者と協議しながら、観光会館改修事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・観光会館、万葉公園を一体とした再整備を長期的に検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	湯河原町指定管理評価委員会の指摘を踏まえ、今後の当該施設のあり方を総合的に検討。
------	---------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	231	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	万葉公園管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	万葉公園を訪れる観光客に、清潔な公園としてイメージアップを図るため、年間を通して草取り、枝打ち、清掃等を実施するもの。				
対象	観光客				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内清掃の委託 ・倒木等撤去の委託 ・樹木等剪定管理の委託 ・万葉植物管理の委託 				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	7,040,191	5,311,483	5,346,000		
コスト 人件費	常勤職員	821,229	668,738	696,880		
	非常勤職員等					
	人件費合計	821,229	668,738	696,880		
総事業費	7,861,420	5,980,221	6,042,880			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,861,420	5,980,221	6,042,880		
財源合計	7,861,420	5,980,221	6,042,880			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
剪定回数	公園の整備に直接関係		回	1	1	1
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	公の施設である万葉公園は、町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	万葉公園を整備することにより、安全・安心をPRするとともにイメージアップを図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	維持管理を行うことにより、万葉公園のイメージアップを図ることを目的としている
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	万葉公園利用者の一人ひとりが均等に利用していただけていると考えている。

平成26年度までの改善点	毎年度に公園内の草取り、枝打ち、清掃等を実施。
--------------	-------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	公園内の草取り、枝打ち、清掃等を実施予定。
平成28年度以降の方向性	万葉公園来場者が安心・安全に散策できるよう、修繕計画を立て、整備を継続していきたい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・観光会館、万葉公園を一体とした再整備を長期的に検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	235	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	ごごめの湯改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	08	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	指定管理者との協定に基づき、修繕をするもの (1件あたりの金額は、他の指定管理施設と同様に20万円以上)				
対象	施設利用者				
内容	・施設の維持管理修繕				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	0	0	0	0	3,186,000
コスト 人件費	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0	0	
総事業費	0	0	0	0	3,186,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0	0	3,186,000
財源合計	0	0	0	0	3,186,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743
利用者数	「ごごめの湯」利用者数		人	96,642	95,971	106,000

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	公の施設であるごごめの湯は、町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	施設修繕を行うことにより、施設のイメージアップを図ることを目的としているが、老朽化がはげしいため修繕箇所が多い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	単年度では修繕が追いつかないため、複数年での修繕計画が必要とされる
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	施設利用者の一人ひとりが快適に利用していただけていると考えている。

平成26年度までの改善点	平成26年度には、非常照明修繕や送湯ポンプ改修工事等を実施。
--------------	--------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成27年度には、温泉槽改修工事等を実施予定。運営について、定期的に指定管理者と担当課とで協議を行う。
平成28年度以降の方向性	快適な施設を使用していただくため、平成28年度以降も指定管理者と協議しながら、ごごめの湯改修事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・早急に改修計画を策定する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	湯河原町指定管理評価委員会の指摘を踏まえ、今後の当該施設のあり方を総合的に検討。
------	---------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 6月23日作成

事業番号	236	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	独歩の湯運営事務経費									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	指定管理者との協定に基づき、修繕をするもの (1件あたりの金額は、他の指定管理施設と同様に20万円以上)				
対象	施設利用者				
内容	・施設の維持管理修繕				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)		
	事業費	7,283,788		10,287,233		9,982	
コスト	人件費						
	常勤職員						
	非常勤職員等						
	人件費合計	0		0		0	
	総事業費	7,283,788		10,287,233		9,982	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	7,283,788		10,287,233		9,982	
	財源合計	7,283,788		10,287,233		9,982	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743	
利用者数	「独歩の湯」利用者数		人	62,602	58,342	70,000	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	公の施設である独歩の湯は、町が整備する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	施設修繕を行うことにより、施設のイメージアップを図ることを目的としているが、老朽化がはげしいため修繕箇所が多い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	単年度では修繕が追いつかないため、複数年での修繕計画が必要とされる
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	施設利用者の一人ひとりが快適に利用していただけていると考えている。

平成26年度までの改善点	平成26年度には、雑用水管引込工事、逆洗弁交換等を実施。
--------------	------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	利用者の増加と利便性を図る方法等を検討するため、利用者へのアンケートを実施予定。
平成28年度以降の方向性	快適な施設を使用していただくため、平成28年度以降も指定管理者と協議しながら、独歩の湯改修事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・早急に改修計画を策定する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	湯河原町指定管理評価委員会の指摘を踏まえ、今後の当該施設のあり方を総合的に検討。
------	---------	--